

対話集会「新未来セッションNEO・2020」意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
1	<p>【The徳島人100人会議】 徳島で地方創生に取り組む方々を支援するとともに、魅力的な徳島づくりについて意見やアイデアを募る「The100人会議」を設置してはどうか。また、その会議に高校生や大学生も関わることで、次世代の徳島づくりの担い手を育てて欲しい。</p>	<p>本県では、地方創生の推進に当たっては、産学官金労言の各界代表者に加え、地域や住民の代表者からなる「地方創生“拳県一致”協議会」を推進母体として、県民総ぐるみでの「地方創生の実現」に向けた取組みを推進しているところ。また、全世代の人々が活躍することができる社会の実現に向けて、皆さんのような若者世代をはじめ、子育て世代、高齢者、障がい者、外国人など、多様な方々からの意見・提言を施策へ反映できるよう、先日皆さんの高校で開催させていただいた、高校生・大学生を対象とした対話型集会「新未来セッション・NEO」による意見交換や、「とくしま創生☆若者『絆』プロジェクト」の一環として開催している「地方創生・RESAS出前講座」の際にアンケート調査を行うなど、各分野ごとの施策展開において、様々な機会・場面を通じて御意見をお聞かせいただいているところです。今後とも、これからの徳島県を担う若者世代をはじめ、多様な方々から幅広く様々な御意見をお聞かせいただく場や機会を積極的に設け、よりよい次世代の徳島づくり、そしてその担い手となる方の育成に努めて参ります。</p> <p>また、本県では、県の各種審議会や協議会への若年者委員の選任を促進し、県の政策・方針決定の場への若年者の参画を推進しています。また、多様な立場の異なる意見を集約し、合意形成するファシリテーション能力の養成や課題解決のアイデアの創出を通じて若者の政策創造力の向上を図っているところであり、今後とも政策・方針決定過程への参画する人材の育成に取り組んで参ります。</p>	政策 未来
2	<p>【しっかりとした環境をつくる（子育て）】 子育て環境の整備のために、アミコビルに保育施設などを集めて、駅前の活性化を図ってはどうか。</p>	<p>現在、アミコビル5階に、徳島市が「子育て安心ステーション」を設置しており、子育て支援サービス（子育て情報の提供、子育て講座・子育て相談の開設及び託児サービスの実施）を行っております。今後とも、保育の実施主体である市を支援し、子育て環境の整備にしっかりと取り組んで参ります。</p>	未来
3	<p>【しっかりとした環境をつくる（SDGsの取組）】 SDGsという言葉は聞いた事があるても何をどのように取り組めばいいのかわからない人が多いと思う。 徳島県は、女性社長の多い県であることや、徳島市がパートナーシップ制度を導入していることを県内外にアピールし、SDGsの目標5、「ジェンダー平等を実現しよう『推進県』」であることを広く発信していくべきではないか。</p>	<p>県では、地球規模の喫緊の課題である環境問題に対し、「緩和策」と「適応策」を両輪とする気候変動対策への取組や、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル（脱炭素社会）の実現に向けた水素エネルギーや自然エネルギーの積極的な利用、エンカル消費の推進など、持続可能な社会を構築するため、SDGsの理念に通じる各種の取組や発信を全庁を挙げて進めるとともに、県民の皆様が「今日から気軽に」取り組めるSDGsアクションの具体例を、県ホームページやローカル雑誌等を通じてご紹介しているところです。</p> <p>男女共同参画の観点では、SDGsが目指している「誰一人取り残さない」社会の実現のため、男女共同参画の総合的な推進拠点である「ときわプラザ（男女共同参画交流センター）」において、男女共同参画に関する講座・講演の開催、各種情報の収集・提供、ホームページやfacebookを活用した広報・啓発等を通じ、本県の女性活躍推進状況や、誰もが輝くことのできる「男女共同参画立県とくしま」を広く発信して参ります。</p>	政策 未来

対話集会「新未来セッションNEO・2020」意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
4	<p>【NPO法人の学校】 NPO法人設立のための学校（塾）を作り、有能な人材を育てる教育プログラムを整えてはどうか。</p>	<p>本県では、NPOやボランティア活動に関わる人材の育成を図るため、若者が「共感」し「持続的な活動」に繋がる具体的な方策をとりまとめた「次世代ボランティア活動推進プログラム」に基づき、「とくしま県民活動プラザ」が中心となって取組みを推進しています。小中学校、高等学校の総合的な学習の時間を活用した「NPO・ボランティア出前授業」や、各大学で実施している「とくしまボランティアパスポート」制度との連携強化により、若者が県内で活躍するNPO等での活動体験を通じて地域課題に対する関心を深め、共助社会を担う次世代人材の育成に取り組んで参ります。</p> <p>また、県立総合大学校「まなびーあ徳島」では、県民ニーズに対応した学習機会の充実に向け、県の各部局をはじめ、県内高等教育機関やNPO法人等、様々な機関と連携を図りながら、専門的知識や技能等を修得するための各種講座を実施するなど、幅広い分野での人材育成を推進しています。また、専門性のある人材を「まなびーあ人材バンク」に登録し、地域貢献や学習ニーズに応じて人材の紹介を行うなど、地域における人材活用にも取り組んでいます。今後とも様々な機会を通じて県民ニーズを捉え、学習機会の更なる充実や人材育成支援に取り組んで参ります。</p>	政策 未来
5	<p>【豊かな自然をアピールする！！】 徳島には豊かな自然があり、すぐに山や川に行くことができるのが自分の町の魅力であるので、人を惹きつけるために、豊かな自然をアピールしてはどうか。</p>	<p>全国屈指の光ブロードバンド環境と恵まれた自然環境や文化、食や体験などを最大限に活かしたワーケーションの展開をはじめとして、本県の魅力を訴求力の高い映像やWEB等様々な手段を活用し、戦略的に発信して参ります。</p>	政策
6	<p>【IT企業（サテライトオフィス等の誘致）】 都会の人が住みやすいよう、都会の環境に近い徳島市内などにサテライトオフィスを誘致してはどうか。</p>	<p>本県では、平成24年より、関係自治体、地元NPO法人、進出企業等とともに「とくしまサテライトオフィス・プロモーションチーム」を組織し、サテライトオフィス企業の誘致に取り組んでおります。また、今年度については、新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、都市での密を回避するため、サテライトオフィスを新たに設置する企業や既存のサテライトオフィスを拡張する企業を対象に補助制度を設けて、積極的にサテライトオフィスの誘致に取り組んでおります。</p> <p>これらの取組により、令和2年12月時点で、16市町村に72社のサテライトオフィスが進出しております。また、徳島市においては、令和2年5月に新たにサテライトオフィス企業が進出し、現在5社のサテライトオフィス企業が進出して参ります。</p> <p>今後とも、関係自治体、地元NPO法人、進出企業等との連携を通じて、徳島県の魅力をPRし、サテライトオフィス企業の誘致に取り組んで参ります。</p>	政策

対話集会「新未来セッションNEO・2020」意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
7	<p>【イベント（徳島の魅力発信）】 本県が持つ豊かな自然、伝統文化や食文化などを体験するツアーやイベントを実施することで、徳島の魅力をより伝えられるのではないかと。</p>	<p>「体験&グルメ」をテーマとした観光キャンペーン「#徳島あるでないで」を令和2年10月より実施しているとともに、2月には親子を対象とした伝統文化体験教室として、遊山箱絵付け体験や阿波おどりの体験教室などを実施することで、伝統文化の次世代への継承及び観光誘客に取り組んでいます。 今後も徳島県の豊かな自然や伝統文化等の魅力発信に取り組んで参ります。</p>	商工
8	<p>【ディーセントワークの獲得】 コロナの影響で離職による求職者が多いと思うので、県内企業でインターシップが活発に行われるよう、県から要請してはどうか。</p>	<p>県では、新規大卒予定者等の就労支援及び就労後のミスマッチによる早期離職を防止するとともに、県内企業の人材確保を目的として、県内企業が行うインターシップを支援することとしています。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により県をまたぐ移動の制限や、実施を見送る企業もありましたが、令和3年度においても、引き続き県内企業のインターシップ実施に向けた支援を実施して参りたいと考えています。</p>	商工
9	<p>【高齢者、子どもが安心して住みやすい町づくり支援する条例】 高齢者や子どもが安心して住みやすいまちづくりを進められるよう、条例（取り決め）を作り、県内外に徳島県の良さを発信してはどうか。</p>	<p>県では、「徳島県ユニバーサルデザインによるまちづくりの推進に関する条例」に基づき、年齢、性別、障がいの有無等にかかわらず、多様な人々が暮らしやすい社会の実現に向け、ハード・ソフト両面からの取組みを進めています。また、条例に基づき、県内で優れた取組みを行う団体を表彰するとともに、受賞団体の取組みを県HPで広報しており、引き続き、ユニバーサルデザインの普及啓発に取り組んで参ります。 また、全ての県民が安全で安心して暮らすことのできる地域づくりを目指して「徳島県安全で安心なまちづくり条例」を制定し、高齢者や児童等に対する犯罪の防止に配慮した環境づくりのための取組を進めています。並びに、高齢者福祉の各種施策の推進方策を示した「とくしま高齢者いきいきプラン」を策定しており、高齢者が住みやすい地域社会を実現するために、プランの内容を広く情報発信するとともに、このプランに基づいた各種施策を着実に推進して参ります。</p>	未来 保健
10	<p>【徳島の娯楽施設やシンボルを作り、人を呼ぶ】 他県の人に今流行のアニメなどの娯楽イベントの機会に来てもらい、その際にアニメ以外の自然や文化などをアピールしてはどうか。</p>	<p>アニメを活用したイベント「マチ★アソビ」の開催など観光シーズンに合わせ、令和2年10月から「体験&グルメ」をテーマとした観光キャンペーン「#徳島あるでないで」を実施するとともに、令和2年2月には、「プチ★アソビ」と連携し、親子向けの伝統文化体験教室として、遊山箱絵付け体験や阿波おどりの体験教室などを実施するなど、取り組んでいるところです。 今後も徳島県の豊かな自然や伝統文化等の効果的な魅力発信に取り組んで参りたいと考えています。</p>	商工

対話集会「新未来セッションNEO・2020」意見への対応内容

番号	意見・提言の内容	対応内容（今後の方針等）	部局
11	<p>【誰もが住みやすい町づくりに取り組む】 誰もが住みやすいまちづくりを進めるために、県内で働いている外国人の環境に心を配り、徳島県の良さへの理解を深めてもらうことが大事ではないか。</p>	<p>県では、在住外国人の相談窓口の運営、生活支援講座の開設、災害時の通訳や生活相談への対応等を行う専門ボランティアの養成を行うとともに、関係機関・団体による支援のネットワークを形成するなど、外国人にやさしいまちづくりを進めており、引き続き、増加する在住外国人支援に取り組んで参ります。</p>	未来
12	<p>【健康づくりの推進】 本県の豊かな自然を活かした、運動を組み込んだ体験プログラムを実施するなど、県民誰もが気軽に運動できる健康づくりの取組を進めてはどうか。</p>	<p>県民の皆様の健康づくりへの意識向上を図るため、とくしま健康ポイントアプリ「テクとく」を令和2年4月から本格運用いたしました。「テクとく」はスマホアプリを活用し、個人の健康づくりに関する取組（歩数、体重等の入力、健康イベントへの参加等）に対し「健康ポイント」を付与し、貯まったポイントに応じて「店舗での特典」や「賞品への応募」により、「楽しく！」「お得に！」健康づくりをサポートするものです。</p> <p>また、「テクとく」において県内のウォーキングコースを紹介しており、気軽に運動しながら、本県の豊かな自然を満喫いただけるよう取り組んでいるところであります。屋外でのウォーキングは、心身のリフレッシュにもつながりますので、引き続き健康づくりの取組を進めて参ります。</p>	保健